

なんだ・かんだ

◆ 水 ◆

我々の住む地球は、ガガーリンが「地球は青かった」と言ったように、表面の3分の2が水に覆われた水の惑星です。

しかし、地球表面にある水の97.5%までが海水で、この海水は生活用水にはまったく適していません。つまり地球上の人間が、そしてあらゆる動物や植物が生きていくために、残りのたった2.5%の水に頼っているのです。さらにこの2.5%の水も、水蒸気や、地下深くに潜む伏流水や地下水、南極や北極の氷や雪など、ほとんどは現実には使用不可能な状態で存在します。これらを差し引くと、飲料水や生活水として直接使用できる水は、全体のたったの0.0001%に過ぎないということです。(このことは今は小学校で習うようです)

そんな中、世界の主要河川のうち70%が枯渇の危機に瀕しており、「水破産」の危機に瀕しているというのです。低価格で供与されている水が浪費されていることが原因で、このままでは20年以内に水資源の不足に伴い、米国とインドの耕地面積の総和に匹敵する農地の縮小が予測されるそうです。

また、多くの水資源がエネルギー開発に使われるようになったことも大きな問題で、米国では水使用量の約40%、EUでは約30%がエネルギー開発に消費されており、新たな需要により水資源はさらに不足し今後は農業用水の確保が問題になるということです。

私の住む町の上水道は、富士山の湧き水として知られている柿田川が水源となっており、その豊富な水量で、私の記憶する限り、日照りが続き水不足となり日本各地で節水制限が行われるような時でも、一度も給水制限がありませんでした。また、農業用水についても同様です。従って水の大切さ・貴重さが身に染みて分かっていませんでした。

しかし、世界では大変な状態になっており、実は自分にも直接関係があるわけです。世界中の耕地面積が減れば、食物を輸入に頼っている日本でも、食べるものが無くなるということなのです。水不足イコール食糧難。我々日本は食料輸入と同時に、膨大な水を輸入しているわけです。

この問題に対して我々が出来ることってなんなのでしょうか？日々の生活で節水してもだめです。やはり、食べ物は残さない。(余分な物は買わない。)それから地産地消(なるべく国内産の物を買う)ことでしょうか？しかし、食料輸入を国策で制限すれば、保護貿易と非難されるし・・・。

大変難しい問題だと思います。



■ リフォームホームページ開設 ■

住宅リフォーム専用のホームページを立ち上げました。当社では工場を中心とした建築工事をしておりますが、実は個人のお客様がお持ちの住宅のリフォームも20年程前から手がけております。施工実績はかなりのあるのですが、ホームページ掲載用の写真が足りなく、まだコンテンツは多くありませんが、これから徐々に充実させて参ります。グーグル・ヤフーとも「チキリのリフォーム」で検索するか、直接、<http://reform.chikiri.com/> とURLを打ち込んでください。是非一度ご覧下さい。また、ご意見・ご感想等いただければ幸いです。

選挙シーズン

梅雨に入り夏も過ぎて、早くも6月も終わろうとしています。今年も雨が多いですが、また雨がやむと暑いじつじつとした蒸し暑い日となり、梅雨らしい毎日が続きます。この時期は工事の日程調整が難しい時期で、何かと苦勞を致します。

さて、国政・県政と騒がしくなってきました。特に静岡県では来週知事選が行われます。今回は高校の先輩が出馬するというところで、商工会議所の集まりや同窓会の集まりなどでは、「県東部から県知事を」と言うことで、話題になっています。このところ、長崎・大阪・千葉とタレントが知事になり、実績を上げています。同じようには行かないでしょうが、強いリーダーシップを発揮してこの経済の難局を乗り切るようになり、それが知事となつて頂きたいと思えます。それが結果的に高校の先輩であればそれはそれでうれしい事でありませぬ。

引き続き、国政選挙もあります。政治に期待してはいないと言われる方もおられるでしょう。(美は私もその方なのですが)しかし、選挙を放棄しては政治は変わりませぬ。少しでも国や県を良くしてくれるだろう人を選ばなくては！ 皆さん選挙へは出かけましょう。そして清き一票を！

代表取締役 服部 徹一郎

環境展来場の御礼

■ 環境展を終えて ■

先月5月26日～29日の4日間東京ビックサイトで第18回NEW環境展が開催され弊社も参加出展して参りました。

今回で5回目の出展となりましたが、今回の環境展は、展示会全体で、出展者数は5%ダウンとそれほど大きくは減りませんでした。出展コマ数は20%ダウンと今まで大型のコマを使っていた大手のメーカーが不況の影響で予算を縮小して規模を小さくして出展したようです。

4日間の来場者数は、2日間に雨、また豚インフルエンザとこれも厳しい状況でしたが、初日・二日目こそ少なく心配しましたが、その後は何とか例年ベースの来場者数であったようです。

当社のブースは会場入口に入って直ぐの角と、好立地もあって、4日間で名刺やアンケートにお答えいただいた方は120名。また、お話しただけですが商品説明をさせた頂いた方はその数倍に登ると思われます。

本通信を送らせて頂いている方も多数ご来場いただきました。ありがとうございました。

御礼申し上げます。



本レターのご提出に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思えます。次回からの発送を中止させていただきます。

株式会社 チキリ
静岡県駿東郡清水町卸団地 73

Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534

E-mail gen@chikiri.com URL <http://www.chikiri.com/>